

令和5年度 感田小学校 食育に関わる取組紹介

取組名：「1人1台タブレットを活用した、料理を栄養バランスよく選ぶ学習」

実施学年：小学校5年生

子どもたちは、家庭科「五大栄養素と食べ物の変化」を学習し、自然教室での食事(バイキング形式)で実践しました。

これまでは事前にプリントを用いて主食・主菜・副菜を組み合わせる練習を行っていましたが、今回は一人一台タブレットでロイロノート(授業支援アプリ)でを使用し、タブレット上で料理を選ぶ練習をするやり方に変更しました。

また、タブレットからオンラインでワークシートを提出してもらい、授業後に個人にコメントを入力してすべての児童へフィードバックすることもできました。



ワークシート (タブレット活用)



タブレット上でコメントして返信する様子

取組名：「電子黒板を活用した全校統一した資料の視聴」

実施学年：給食委員会から全校へ

全学級が給食室へ返しに来る際、どこに何を置くのか分からず立ち止まる児童が多く、込み合う原因の一つとなっていたので、給食委員会で「給食室での片付け方」動画を作成し、各学級で視聴してもらいました。また、視聴後に分かったかどうか確かめるためにアンケートを実施しました。

【動画の内容の一部】



片付け場所の説明



片付け方の説明

取組名：「ICT を活用した給食の時間における食に関する指導」

実施学年：給食委員会から全校へ

行事食や地域の料理等、特別献立の際は、食に関する指導を栄養教諭から行いたいところですが、時間的に1日1学級しかできませんでした。そこで、過去に作成したデータをもとに、タブレットを使ってロイロノート(授業支援アプリ)で再生できる資料を作成し、該当献立の日に視聴してもらいました。また、給食委員会児童が作成したアンケートの結果やクイズを盛り込みました。

【資料の一部】



給食に使われている地元食材の紹介



給食委員会と栄養教諭で作成した資料

- ・タブレットを使用したことによって、児童にとって消し書きする時間や、教師にとって記入の仕方の説明が不要になり、児童の考える時間を十分に確保することができました。
- ・全学級がそれぞれ都合のよいタイミングで手間なく動画を視聴することができました。
- ・「給食室での片付け方」視聴後は給食の返却時にすぐに生かすことができ、ルールを守ろうとする姿が見られました。以前は、学級担任や児童から「これはどこに置くのですか？」という質問がありましたが、「動画を思い出して！」「食器の札はどっち向きだったかな？」等の声掛けが見られるようになりました。